⑶　運営費交付金債務残高の明細　（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
	区　分	金　額	
平成22年度	費用進行基準を採用した業務	326,716,737	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 基礎研究推進等事業費については、研究委託の進捗状況や新規研究委託事業の採択により事業が進められるため研究委託費等を残している。 退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降に収益化する予定である。
平成23年度	費用進行基準を採用した業務	86,538,803	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 基礎研究推進等事業費については、研究委託の進捗状況や新規研究委託事業の採択により事業が進められるため研究委託費等を残している。 退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降に収益化する予定である。
平成24年度	費用進行基準を採用した業務	195,337,614	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 創薬支援事業費の一部が残額となっている。 基礎研究推進等事業費については、研究委託の進捗状況や新規研究委託事業の採択により事業が進められるため研究委託費等を残している。 退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降に収益化する予定である。
平成25年度	費用進行基準を採用した業務	269,345,698	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 創薬支援事業費の一部が残額となっている。 基礎研究推進等事業費については、研究委託の進捗状況や新規研究委託事業の採択により事業が進められるため研究委託費等を残している。 退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降に収益化する予定である。
合　計		877,938,852	

9．運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

⑴　施設費の明細　（単位：円）

区　分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
霊長類医科学研究センター高度実験棟建設	1,482,780,000	—	1,478,635,967	4,144,033	㈱
計	1,482,780,000	—	1,478,635,967	4,144,033	

㈱　その他は、預り施設費であり、未使用分は返納する予定であります。

⑵　補助金等の明細　（単位：円）

区　分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
科学技術総合推進費	20,007,000	—	—	20,007,000	
先端医療振興財団事業費	9,500,000	2,455,614	—	7,044,386	
計	29,507,000	2,455,614	—	27,051,386	

10．役員及び職員の給与の明細

（単位：千円、人）

区　分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役　員	(3,202) 25,984	(2.0) 2.0	(—) 10,446	(—) 1.0
職　員	(530,867) 606,998	(141.9) 86.1	(—) 59,900	(—) 3.0
合　計	(534,069) 632,982	(143.9) 88.1	(—) 70,346	(—) 4.0